

1. 評価結果概要表

作成日 平成 22年2月4日

【評価実施概要】

事業所番号	0175300367		
法人名	有限会社 浜本		
事業所名	グループホーム ふれやか東藻琴館		
所在地	〒099-3214 網走郡大空町東藻琴5 3 8番地の4 (電 話) 0152-63-5700		
評価機関名	社会福祉法人北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成21年11月2日	評価確定日	平成22年2月4日

【情報提供票より】 (平成21年 10月 19日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	17年	3月	14日
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9	人
職員数	11人	常勤	5人,	非常勤 6人, 常勤換算 7.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30日:22,500 31日:23,250 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,153	円

(4) 利用者の概要(10月 19日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	0名	要介護2	3名		
要介護3	4名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 85.1歳	最低	74歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東藻琴国民健康保険診療所・東藻琴歯科診療所
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、大空町に初めて設立したグループホームであり、中心商店街から車で5分の場所に位置している。建物の周りに花・野菜畑やビニールハウスが、玄関前には駐車場がある。玄関に入ると、管理室、トイレ、台所があり、それらを囲む形で廊下、廊下の外側に居室がある構造になっており、居室から四季折々の変化を楽しむことができる。利用者は広い廊下を利用して体を動かし、北海道の寒くて長い冬場の運動不足解消に役立っている。居間兼食堂のベランダの外にデッキがあり、陽あたりが良いため、利用者は天気の良い日にお茶を楽しんでいる。事業所で採れた野菜と地元の食材を中心に家庭的な味付けをし、食べやすく食事を楽しむ工夫をしている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価後に管理者、介護支援専門員、介助員の入れ替わりがあったが、後任者が引き継ぎ、問題点を確認し、改善に向け取り組みを継続中である。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者を中心に、副施設長と職員がミーティングの中で意見を出し、繰り返し検討し、管理者がまとめている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2ヶ月に一回開催している。役場職員、地域包括支援センター職員、商工会女性部長、自治会長、民生委員、家族と構成員も多種に渡り、事業所の運営状況報告をし、出席者は意見を出し合い内容を検討している。また、議事録を作成し、討議内容を職員とも共有し、毎日の支援に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族等へは病院の受診の際に利用者の様子を報告し、意見などがあればその都度対応し、会えない時は電話で報告している。最近はあまり苦情がない。家族にアンケートを3ヶ月ごとに実施し、運営に反映させるよう計画している。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入の予定で、会費等を検討している最中である。町の文化祭に作品を展示したり、特養ホームの盆踊りや花火大会に参加するなどしている。また、地元の高校と交流がある。職員や利用者の多くは地元の人間で、地域との関係づくりもスムーズであり、時には野菜のやり取りがあるなど、交流を深めるように努めている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は事業所開設時の職員で作成したものが、その後改善に向けて話し合いを続け、1年間かけて「地域の中でゆっくり・楽しく笑顔で・出来るだけ自分で」との理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関や居間、管理室など目に見えるところに理念を貼り、全体ミーティングで確認、共有し、日々の支援に活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入の予定で、会費等を検討中である。町運営の文化祭に作品を出品したり、特養ホームの盆踊りや花火大会に参加している。そば打ちボランティアや近所の住民が歌を披露するなど、できる限り事業所をオープンにし、地域との交流が進む雰囲気づくりに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は管理者を中心に全員で作成している。外部評価については職員全体で評価の意義を理解し、気付きを共有化し、日々の暮らしに活かすよう取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催している。役場職員、地域包括支援センター職員、社協職員、商工会女性部長、民生委員、自治会長、家族と参加者は多様に渡り、事業所の運営状況の報告の後、参加者の意見を聞き運営に活かしている。今後も概ね、2ヶ月に一回の開催を計画中である。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月1度開催している、特養職員、社協配食係、ヘルパー、保健師、役場職員、地域包括支援センター職員がメンバーの大空町地域ケア会議に管理者が出席し、情報交換を行ったりアドバイスを受けている。事業所の職員の半数は地元なので、役場との関わりがあり、行き来する機会をつくっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者は定期的に病院を受診している。基本的には家族が対応することになるので、その機会に利用者の状況を報告をしている。会えない家族には電話で報告を行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等に状況報告をし、意見や不満、苦情がある時はその都度対応している。最近はまだ苦情が無い。アンケートを3ヶ月ごとに実施するよう計画していて、12月中に実施予定である。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	平成21年4月に管理者、職員の異動があったが、声かけや見守り等を意識して利用者へのダメージを防ぐよう配慮した。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>全体ミーティングの中で内部研修を実施している。外部研修に参加の職員は資料を作成し、全体会議において報告している。資格取得希望者には積極的に支援をしている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の特別養護老人ホームと交流を持ち、意見交換等している。また、近隣の町の同業者との交流を持つ計画があり、実施に向け取り組んでいる。</p>		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人や家族からの相談に応じ、自宅訪問から始め、管理者や職員と馴染んでからサービスの利用を開始するように努めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者は、食後に食器を拭く、布巾を干すなど、できることをしている。また、利用者と職員と一緒に食事を作ったり、ゲームをするなど、ともに過ごす時間を大切にしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用開始の際に本人と家族から希望や生活歴等を聞き、定期的なミーティングで職員間の情報を共有化し、できるだけ希望に沿った支援ができるよう取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回サービス担当者会議を実施している。会議では課題を出し合い、利用者本位の介護計画を作成している。また、センター方式を取り入れていく計画がある。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月を基本として、介護計画を見直している。利用者の体調等の変化に応じて本人や家族と話し合い、介護計画の見直し、作成を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院受診の送迎を状況に応じて支援をしている。また、地元高校生の職場体験を受け入れたり、商工会議所とともに認知症の勉強会を行う計画を立てている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々のかかりつけ医を把握している。受診はできる限り家族に依頼しているが、必要な時は支援をしている。また、地元には病院は1件しかないため、町外の病院の受診の支援もしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けての詳しい方針や内容についてまとまっていない。	○	重度化や終末期についての書類を整備し、本人や家族の意向を聞き、全員で共有していくことを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりが嫌がることを記録し、職員全員で共有化している。利用者のプライドを尊重した声かけに努めている。また、個人情報の記録は保管場所を決めるなど、細心の注意を払っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの思いとペースを確認しながら支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好き嫌いを把握し、事業所で採れた野菜と地元の食材を中心に利用者とともに家庭的な味付けとなるように調理している。できる限り利用者とともに片付けもしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は同性介助で週に2～3回を基本にしているが、無理強いはしていない。また、シャワー浴に応じるなど、本人の気持ちを優先している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	最初のモニタリングにより、できることや楽しみごとを把握し、散歩やレクリエーションなどの支援をしている。また、そば打ちボランティアや近所からの歌の訪問等の機会を多く受け入れており、利用者は楽しみにしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や収穫作業、冬にはドライブ等をしている。事業所専用のワゴン車が確保できたので、外出の機会が多くなる予定である。また、家族や利用者と話し合い、本人自身が小遣いで買い物をする等の支援をする計画をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	現在は鍵をかけているが、鍵をかけないケアを実施していく予定である。また、消防署や警察にも協力を要請し、安全面にも心がけていくつもりである。	○	鍵をかけない支援に取り組むことを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	立ち入り調査の際、消防署から助言を受けて避難口を広く確保している。また、消防署の協力を得て、避難訓練を11月に実施する予定である。連絡網を作成し、全職員に配布している。	○	地域住民の協力を得て避難訓練の実施をすることを取り組みを期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの水分量のチェックシートを作成している。管理者が利用者や職員の意見を聞きながら食事メニュー表を作成し、栄養士が確認している。また、個々の食事摂取量を見て、次のメニュー作成に活かしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者とともに居間のテレビの位置を考えて、何度か配置替えをするなど、居心地良く過ごせるような工夫をしている。また、共用空間は全体的に掃除が行き届き清潔に保っている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室を和風か洋風にするかは、本人と家族の希望にできるだけ沿うようにし、使い慣れたものを持ちこんでいる。掃除はできる限り本人とともにし、部屋の様子を変えないような支援に努めている。		

※  は、重点項目。